

〈歯が動いた！〉下顎前突

小1から乳歯反対咬合の定期観察を開始。小4で永久歯の前歯部反対咬合が認められた為早期矯正治療スタート。小5で改善。中学生になり下顎骨の成長発育が顕著となる。高校よりOPE併用の矯正治療を計画、実施し、現在は咬合の安定とリラックスした咀嚼筋が獲得された。現在OPE後5年を経過していますが予後は安定し、日常生活を快適に過ごしています。

『第1期治療』

早期矯正治療
97'(小4)



98'(小5)



使用装置



L.A. (6M)

M.B.S. (4M)

03.3.11
治療前
(中3)



『第2期治療』

03.4.4
SWA装着
(高1)



04.11.25
(高2)



05.3.4
OPE前
SPLINT装着
(咬合安定化)



05.8.2
On hook
(外科用)



05.8.17
OPE直後



05.10.5
OPE後
1ヶ月



《 》

治療後

